



黒澤 茂樹議員

**Q** 稲枝駅西口駐輪場整備の進捗状況は

**A** 令和8年度中には方向性を見出せればと考えている



その他の質問

- ・インターネット上の人権侵害や誹謗中傷等への取組について
- ・沖縄県那覇市との交流について
- ・特別な教育課程の編成について

**Q** どのような駐輪場を整備しようと考えているのか。

**A** 簡易な構造では無く、不特定多数の利用者が日常的に利用することを前提とし、安全性、耐久性および雨対策等を備えた構造を考えている。

**Q** 予算計上せずに事業は進むのか。

**A** 早期整備の必要性は認識しており、民間活力導入の検討と並行し、駐輪場の整備および管理手法について検討する。

**Q** 長期にわたり駐輪場整備を待つ市民の思いをどう考えているのか。

**A** 現在、道路整備を優先して進めているが、令和元年の質問から6年以上もの間、事業化に至らず地域の皆さんに不便をかけていることは十分認識している。整備の方向性や管理手法等が決まり次第、地元の皆さんの思いを重く受け止め、速やかに進められるよう努力する。



▲稲枝駅西口仮駐輪場



長崎 任男議員

**Q** 学校のあり方は十分な対話と住民の理解を得ながら慎重に進めるべきでは

**A** 十分な議論を重ね、理解と合意を得ながら丁寧に進めて行く



その他の質問

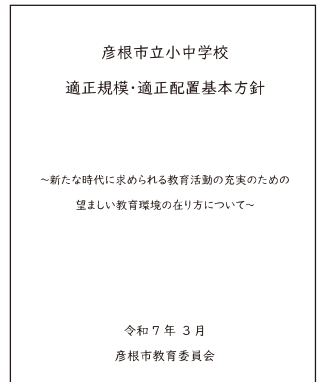
- ・ディスティネーションキャンペーンの経済効果について
- ・図書館中部館について
- ・中央館整備の具体的な条件や目安は

**Q** 学校が無くなることは、単に教育施設が減るということだけでなく、地域の灯が一つ消えるに等しい。子ども達の教育環境を守るとはもちろんだが、同時に地域の持続可能性をどのように確保していくのかの視点が不可欠であるからこそ、慎重に進めるべきでは。

**A** 今後の学校の在り方は、児童生徒にとってよりよい教育環境を整備する目的のもと、地域のつながりや活動の拠点となっている現状を踏まえ、十分な議論を重ね理解と合意を得ながら進めたい。

**Q** 対話による議論で住民の理解が得られない場合には、統廃合ありきではなく計画の見直しもありえるのか。

**A** 一方的に提案するのではなく、説得力がある話が出てくれば考え方も変わる。結論ありきではない。



▲彦根市立小中学校適正規模・適正配置基本方針



中川 睦子議員

**Q** 男女共同参画センター「ウイズ」の再利用はあるか

**A** 今後、サウンディング調査を実施し検討していく



その他の質問

- ・「ふれあいの館」の今後について
- ・学校給食の負担軽減(給食無償化)について
- ・学校給食法に基づく食育指導について

**Q** 「男女共同参画センター」の新たな設置場所はどこか。

**A** 市役所本庁舎4階の企画課内に設置する。

**Q** 移設後は何人でのどのような体制で対応するのか。

**A** センター業務に専従職員は置かず、企画課の職員が兼務し、通常8人だが、9人体制と考えている。

**Q** 継続する事業はなにか。

**A** 講座やフォーラム、相談事業については専用回線を予定している。広報紙「かけはし」は広報ひこねを活用し、図書コーナーは庁舎6階屋上展望スペースでの配置を考えている。また、自主活動団体の継続取組には支援をしていきたいと考えている。

**Q** 施設の再利用はあるのか。

**A** 市の財政負担がかからないよう、サウンディング調査を実施するなど検討する。



▲2025年 男女共同参画センター「ウイズ」

※サウンディング調査とは、市有地などの有効活用に向けた検討に当たって、活用方法等について民間事業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握する調査です。



堀口 達也議員

**Q** 田島市長の予算編成と厳しい財政状況への認識は

**A** 予算総額507億で過去最大であり、約10億の財源不足に財政調整基金で対応



その他の質問

- ・彦根城世界遺産登録の最大の課題は
- ・ひこにゃん誕生20周年事業の効果は
- ・産後ケア・アウトリーチ支援の実効性は

**Q** 田島市長の事業見直しの成果は。

**A** 令和8年度当初予算は507億円超の過去最大規模。法人市民税やふるさと納税は好調だが、市債償還や人件費、扶助費の増加により約10億円の財源不足が生じ、財政調整基金を取り崩して編成した。事務事業のゼロベース見直しで約1.2億円を削減したが、市民生活への影響を踏まえ慎重に判断する必要がある。

**Q** ふるさと納税の自主財源の財政効果は。

**A** 令和7年度のふるさと納税は令和8年2月末時点で約22億円、前年同時期比で約145%となっている。寄附額増加の要因として、返礼品を800点へ拡充し、検索対策や広告戦略を効果的に実施した。令和6年度実績では寄附額15.8億のうち事業経費や税流出額を差し引いても、実質約7.3億円の財政効果があった。



▲過去最大507億円！田島市政の新年度予算案





安澤 勝議員

**Q** 遠隔地と中心市街地を結ぶ交通手段として実用化の展望は

**A** 実証運行の検証や全国を取組を注視し、情報収集や研究に努める



その他の質問

- ・道路交通法改正に伴い新たに標識やサインを設置する予定や考えはあるか
- ・道路交通法改正内容の市民向け周知・広報について

**Q** 自動運転バスにかかった経費は。

**A** 県の予算額として令和6年度は事前調査費2,000万円、令和7年度は実証運行費3,600万円。

**Q** 遠隔地と中心市街地を結ぶ交通手段として実用化の展望について見解は。

**A** 乗務員の不足など公共交通の課題が顕在化する中で、自動運転技術の実用化が公共交通の維持に一定の役割を果たす可能性があることは認識しているが、自動運転の導入には多額の費用がかかるため、現段階では本市単独での実用化への検討は困難。しかしながら現在のAI技術の進展や実績の積み重ねにより、費用面や技術面への不安が解消されていくことも想像できる。今後は滋賀県で行われている、実証運行の検証や全国を取組を注視し、情報収集や研究に努める。



▲実用化に期待を寄せる自動運転バス



小川 吉則議員

**Q** 人生会議とは

**A** どのような医療やケアを望むかを家族等と話し合う取組



その他の質問

- ・こども家庭センターひこまるについて
- ・2026年衆議院選挙期日前投票について

**Q** 人生会議とは、どのようなものか。

**A** 将来の病気や介護に備え、どのような医療やケアを望むかを家族や医療・介護関係者と話し合う取組で、本人の価値観や希望をみんなで共有し、意思決定を支える継続的な対話のプロセスを指す。

**Q** 人生会議を行う意義はなにか。

**A** 人生会議を行う意義は、「本人の価値観や希望に沿った医療・介護を実現するためのプロセスを踏むことができる」点である。延命治療の希望、住まいの選択、生活の質のあり方、家族との関わりなど、何度も見直すことで、本人らしい意思決定・生き方を尊重・実現することを目的としている。本人の価値観や希望に基づき、最期までいかに自分らしく生きるか、将来の医療・介護全般について考え、話し合うプロセスを踏むことに意義があると考えられる。



▲在宅医療・介護連携推進フォーラムin湖東のチラン